

東北事業部からのごあいさつ

新春を迎え、改めて皆様のご健勝とご繁栄を心よりお喜び申し上げます。

日頃は弊社の事業に大変ご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は一昨年に引き続き世界各地でテロ事件が勃発し、イラク・北朝鮮の核保有、さらには拉致問題等緊迫した状態が続き、国内においても一層のデフレ化のもと、金融・株式の低迷、企業倒産、失業人口過去最高等と、依然として不況から脱しきれません。

また、牛肉の不正表示に端を発し、野菜の農薬問題等食品の安全・安心について、消費者の方々を裏切った1年でもありました。

一方、世界各地で異常気象が発生、輸入粗飼料に大きな影響が現れておりますので、その状況について少々コメントさせていただきます。

2002年度産の輸入粗飼料は、カナダ・豪州がそれぞれ大早魃となり、カナダ産チモシー、豪州産オーツヘイが大幅に減産になり、需給、相場両面で大きく揺れ動いております。

また北米・豪州の刈り取り時期の天候不順で、総じて例年に比較して生産量が減少しています。

2002年度産(本年度産)輸入乾牧草の生産状況は次の様な見通しです。

カナダ産チモシー	例年生産量	25万 t	本年度生産量	約7割減の8万 t
US産チモシー	例年生産量	23万 t	本年度生産量	約2割減の18万 t
スーダン乾牧草	例年生産量	35万 t	本年度生産量	約3割減の25万 t
ストロー	例年生産量	37万 t	本年度生産量	約2割減の30万 t
豪州産オーツヘイ	例年生産量	50万 t	本年度生産量	約5割減の25万 t

年明け以降は、昨年の米国港湾封鎖の影響もほぼ払拭され、供給面もある程度の落ち着きも出ると予想されますが、ただ全般に相場は堅調で推移し、イネ科牧草の不足傾向が根強く影響していくと考えられます。

特にオーツヘイの不足は深刻な問題として尾を引き、代替品のスーダン、チモシーに需要が集中する事が予想され、例年よりも生産量が落ちている事から、これら相場のさらなる高騰が懸念されます。

このような状況下ではございますが、輸入粗飼料について、弊社は皆様方への物量確保に最大限努力してまいります。

今年も弊社は、「健土健民」を創業以来の会社の理念と再認識し「農業奉公」を社是とし、豊かな農業を育て自然を守る愛される企業を目指し、より研究開発をベースに飼料作物、園芸野菜、配合飼料、微生物等の分野で研鑽を重ね、商品群を揃えお役に立つ所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げますながら、皆様の一層のご発展とご健勝をご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

(東北事業部長 内山 幹夫)

雪印種苗株式会社

編集発行人 菊地 庸

本社 004-8531 札幌市厚別区上野幌 一条五丁目一番八号

TEL 〇一一〇八九一一五九一一

東北事業部

024-0004 北上市村崎野 一四地割一七四一一

TEL 〇一一九七六六一二二三六

FAX 〇一一九七七一一三三〇七